

新人編集者マツバラの道場破り企画!

社長!好きなんです!

やっぱり好きやねん、やっぱり好きやねん。というわけで始めました「社長!好きなんです!」。
独身三十路女マツバラが「勝手」に一目惚れしてしまった会社を「強引」に取材する極私的訪問記。
ステキな出会いを求めて、今日もOSAKAの町をさすりますっ!この連載、なんとか第2回目にこぎつきました…。

ツイッター始めました。
やさしく follow me
@bplatzpress



ラブポイント

10年以上かけ、「スリコミ」と「クチコミ」で大阪発の食の大切さを説き続ける情熱。堅気な社長に、
今月も撃沈…

大阪「アメ」カルチャーに一石を投じる!

JR美章園駅を降り、日本の原風景の様な商店街や住宅街を右に左にうろついていると、突如として現れる「飴の豊下」という看板。工場に入ると早速甘い香りが。ここがあの「あべのアメちゃんハイボール」

生誕の地だと思うと、にわかにはハイボール巡礼人マツバラの血も騒ぐ。そもそもこの商品が開発されたのは、ご当地ハイボールの一環として「アメ」のハイボールを作りたいというサントリーからの依頼がキッカケ。「子どもの様に可愛い大阪の飴を世に広げん」というポリシーを抛り所に、試行錯誤の日々が始まった。プレーンなハイボールとシナジーを生む色・味・香りを追

求した結果、なんと100kgもの飴を試作に費やし、約半年後、入魂の逸品が完成。お客さんからの評判も上々だ。

そんな豊下製菓は明治5年創業の飴の老舗中の老舗。五代目豊下正良社長は、食に対する並々ならぬこだわりを持ち、大阪「古来」の味を伝承していきたい一心で飴作りに励んできた。営業の際はもちろん、海外出張にも自社の飴を持ち歩き、行く土地々々で口に

含み、その場所によって飴の味が微妙に変化するのを確認する作業を怠らない。社長の繊細な舌と食への貪欲なまでの執念が、大阪の「アメ」文化を支えている。



今月の「スリコミ」社長
代表取締役
豊下 正良氏



「あべのアメちゃんハイボール」(下)とハイボール用のアメ(左)



豊下製菓株式会社
☎06-6719-4458
<http://www.toyosita.com/>

Information 大阪市からのお知らせ

東日本大震災関連緊急融資を実施しています

国の東日本大震災復興緊急保証に対応し、東日本大震災の影響で売上高等が著しく減少している中小企業者を支援するため、東日本大震災関連緊急融資を実施しています。

【対象】東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第128条第1項第1号または第2号の認定を受けた中小企業者

【融資限度額】2億円(うち無担保8000万円)

【相談窓口】大阪産業創造館2F 中小企業プラザ TEL06-6264-9847

【問合せ】大阪市経済局産業振興部 金融課 TEL6264-9844(平日9:00~17:30)

【詳細URL】<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaiikyoku/>

商い繁盛館フェスタ ~あなたのお店開業・経営を応援!~

大起水産(株)代表取締役の佐伯保信氏が産地直送の鮮魚流通システムによる自社の成長戦略を語る特別講演をはじめ、各種セミナーや店づくり相談会を下記日程で開催し、飲食店・小売店の開業や既存店舗の経営強化をサポートします。

日時 7月26日(火)11:00~18:00

11:00~12:30「小規模店だからこそ、個性を追求できる店づくり」

講師:味酒かむなび店主 伊戸川 浩一氏

13:30~15:00 特別講演

「新鮮な海の幸を多くの人々へ!成長企業のビジョン~大起水産の開業から回転寿司店成長戦略~」講師:大起水産(株)代表取締役 佐伯 保信氏

15:30~17:00

「ネット通販のマーケティング~購買者のココロの動き解説します~」

講師:(株)THINK THINK代表 森 洋子氏

開催場所 アジア太平洋トレードセンター(ATC)内 ITM棟3F 商い繁盛館

費用 無料 ※一部材料費1,000円要

申込み 電話又はFAXにてお申込みください。※先着順・定員になり次第締切

問合せ 店づくり支援センター「商い繁盛館」事務局

TEL06-6615-5265 FAX06-6615-5265

【詳細URL】<https://www.akinaihanjyokan.com/>

★ b-platz pressがWEBマガジンとして、パソコンやスマートフォンでもご覧いただけるようになりました! ★
<http://www.sansokan.jp/press/webmagazine/>

編集部でもTwitter始めました
<http://twitter.com/#!/bplatzpress>

次号予告!

2011年8月10日発行 b-platz pressは…
「ハタチの会社見学」(仮)

現役大学生が中小企業を訪問し、事業戦略や若手人材の活用について経営者に聞く。

b-platz press

めざせ!日本一オモロイ行政情報

大阪市経済局の中小企業サポート拠点、大阪産業創造館が発行する月刊ビジネス情報紙「b-platz press」は毎月10日発行で、大阪市内の主要施設などで無料配布しています。「b-platz」とは「ビジネス情報の集積の場」の意味。「大阪が元気になるには大阪人が頑張っていることを伝えるのが一番」という理念のもと、大阪で活躍する元気でバワフルな経営者にフォーカスした記事を掲載しています。編集部ではビジネスに役立つ情報、ユニークなビジネスモデル、元気でカリスマ性のある経営者などの情報やご意見をお待ちしています。
e-mail: press@sansokan.jp

編集後記

今回、取材に伺ったニューメディカ・テックさん(2P参照)で、浄水の過程を見学させてもらいました。ジュース、ビール、缶コーヒー、塩、酢などを混ぜた液体が、またたく間に透明の液体に!実際に飲ませていただきましたが、見た目はもちろん、においもなく、ミネラル分が含まれたおいしいお水になっていました。今回の取材は、まったくの文系の私にとってはかなり難しかったんですが、どの社長さんも技術について図を描いてくれたり、実験して見せてくれたり、とても丁寧にわかりやすく説明していただきました。まるで学生に戻って授業を受けているようでした(何年ぶり?!)。 (はまー)



b-platz press編集部より読者のみなさまへ

掲載している企業と読者の間で結ばれるいかなる取引・契約について、その内容及びそれに基づいて発生したいかなる事故・トラブルに関しても、大阪産業創造館は一切責任を負いません。

紙面広告

広告掲載についての詳しい情報はデイジー・ヒル株式会社のホームページ、もしくは電話でお問合せください。

デイジー・ヒル株式会社
<http://www.daisy-hill.co.jp/ad.h>
☎ 06-6536-3924